

乳がん検診を受けましょう！

日本人女性の乳がん発症率は年々上昇してきています。特に40～50歳代の女性に多く見られ、40歳代については、この20年間に2倍に増加しています。乳がんを早期発見、早期治療に結びつけるためには、毎月1回の自己検診と視触診、マンモグラフィ検診(乳房X線撮影)を合わせた、定期的な検診が必要です。乳がん検診を希望される方は、次のとおりお申し込みください。

実施日 6月13日～11月17日(月・水・金・土) ※8月は除く

検診場所 市立病院

受付時間 月曜日 午後3時30分～4時 水・金曜日 午後0時30分～1時 土曜日 午前10時45分～11時15分

対象者 30歳以上の市内在住の女性(妊娠中・授乳中は除く)

申込方法 電話でお早めにお申し込みください。

※6月にいきいきプラザ都留で実施する健診の会場でも申し込みができます。

※6月5日(木)～28日(土)の検診期間中、電話の受け付けは、午後2時からとなります。(土・日は除く)

検診内容 問診・視診・触診・マンモグラフィ検診

※マンモグラフィ検診

乳房を片方ずつ、プラスチックの板で挟んで平らにして縦、または横方向から乳房専用のレントゲンで撮影する検査です。手に触れない小さいしこりまで発見することができます。

○圧迫の際に軽い痛みを伴うことがありますので、乳房の張りの少ない生理後に受けると良いでしょう。

○妊娠の可能性がある方はマンモグラフィ検診ができません。

○40歳代以外の方の2方向撮影はこの検診では受けられません。

費用 40～49歳までの方(昭和34年4月1日～昭和44年3月31日までに生れた方) 1,300円

70歳以上の方(昭和14年3月31日以前に生れた方) 400円

その他の年齢の方 700円

申込・問合先 健康推進課 保健・予防担当 ☎(46)5113 内線123

予防接種実施要領の改正のお知らせ

三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)、麻しん、風しん予防接種について

既罹患者については、未罹患疾病の予防接種を実施するために、未罹患疾病に対応するワクチン成分を含んだ混合ワクチンを接種することが可能になりました。ただし、ワクチン成分に対応する疾病の全てに罹患している方は除きます。

☆過去に風しんにかかったことがある人の場合→麻しん・風しん混合ワクチンか麻しん単抗原ワクチンになります。

☆過去に風しん、麻しんともかかったことのある人の場合→予防接種の必要はありません。

☆過去に百日咳にかかったことがある人の場合→三種混合ワクチンが接種可能になりました。

接種間隔の表示について

ジフテリア、百日咳、破傷風の予防接種、急性灰白髄炎の予防接種及び日本脳炎の予防接種が対象となります。

○ジフテリア、百日咳、破傷風の予防接種の第1期初回における3回の予防接種については、3週間から8週間までの間隔を日単位に変更し20日～56日の間隔とします(今までは、月曜日に接種したら次の接種は最短で3週間後の火曜日でしたが、これからは月曜日になります)。

○急性灰白髄炎の予防接種における2回の予防接種については、接種間隔が6週間以上の間隔を日単位に変更し、41日以上の間隔とします。

○日本脳炎の予防接種の第1期初回2回の予防接種についても、それぞれの接種の間隔が1週間から4週間までの間隔を日単位に変更し、6日～28日の間隔とします。

問合先 健康推進課 保健・予防担当 ☎(46)5113(内線123・132)

子宮がん検診が、都留市立病院、大月市立病院でも受けられるようになりました

今まで、都留市立病院、大月市立病院では、市の助成が受けられる子宮がん検診は受けられませんでした。4月14日(月)より受診できるようにになりました。受診される方は各市立病院に問い合せをしてからお受けください。受診時には、各市立病院に用意してあります市の指定用紙「子宮がん検診問診票(黄色)」をお使いください。

特定健診・がん検診は、

申し込みが必要になりました。今年は、昨年の健診受診の有無にかかわらず、受診希望の方には全員に申し込みをいただいています。お手元に申請書がある場合は、既に受け付けは始まっています。4月号の広報に詳細が載せてありますので、今一度確認のうえ、お申し込みください。申込書がお手元がない方は、電話でお申し込みください。

なお、社会保険の被扶養者の方は、保険者(保険証を発行している機関)へ市が実施する特定健診を受けられるか確認のうえお申し込みください。

問合・申込先

健康推進課 ☎(46)5113